

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
 八女市祈祷院563 〒834-0025
 HP: www.wing8.com/dcity-yame/

クラッシーのバックナンバー(2010.1.1号より)がインターネットでご覧になれます。
 「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

10 OCT

	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
11	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 10月2日・16日・30日 黒木町ふじの里 10月2日・16日 上陽町地域福祉センター 10月9日・23日 立花町かがやき 10月9日・23日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 10月11日 黒木町ふじの里 10月18日 上陽町地域福祉センター 10月25日		1 8月27日 仏滅 なんでも人権相談所 (矢部公民館)	2 28日 大安 なんでも人権相談所 (八女市役所星野支所)	3 29日 赤口 なんでも人権相談所 (八女市役所星野支所)	4 30日 先勝 八朔花火大会 (八女市祈祷院・20:00~) なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館) (地域福祉センター)	5 9月1日 先負 松尾弁財天縁日 (立花町)
6 2日 仏滅 障がい者支援講演会 (おりなす八女) 県民文化祭 オープニングイベント (サザンクス筑後)	7 3日 大安 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	8 4日 赤口 大仙公園祭 (矢部村)	9 5日 先勝 なんでも人権相談所 (筑後市勤労者家庭支援施設) (立花市民センター)	10 6日 友引 なんでも人権相談所 (地域交流センター)	11 7日 先負 なんでも人権相談所 (地域交流センター)	12 8日 仏滅 黄櫨の会 研修旅行 八女商工会議所青年部 創立30周年記念講演会 (おりなす八女) 子ども会陸上・綱引き大会 (羽犬塚中グラウンド)
13 9日 大安 障がい者支援講演会 (おりなす八女)	14 10日 赤口 体育の日 千住真理子ヴァイオリン リサイタル (おりなす八女) 15時開演	15 11日 先勝 大仙公園祭 (矢部村)	16 12日 友引 社会保険個別相談会 10:00~15:00 (八女商工会議所) 要予約 0942-33-6215	17 13日 先負 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	18 14日 仏滅 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	19 15日 大安 防火・防犯秋の大祭 (八女市土橋八幡宮周辺) 国際ソロプチミスト八女 チャリティバザー (おりなす八女) フェスタ羽犬塚 (~20・市役所駐車場)
20 16日 赤口 サザンクスシアター グレンミラー物語 黒木町棚田ウォーク (八女歩こう会) 第8回環境フェスタ in 八女 (おりなす八女)	21 17日 先勝 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	22 18日 友引 無料法律相談 13:30~・要予約 (八女民主商工会) ☎24-2727 不動産に関する何でも 相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	23 19日 先負 無料法律相談 13:30~・要予約 (八女民主商工会) ☎24-2727 不動産に関する何でも 相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	24 20日 仏滅 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	25 21日 大安 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	26 22日 赤口 お風呂の日 (グリーンピア八女) (温泉館きらら) (不動温泉八女) (公園の宿) (べんがら村)
27 23日 先勝 第30回市民コンサート (おりなす八女)	28 24日 友引 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	29 25日 先負 無料法律相談 13:30~・要予約 (八女民主商工会) ☎24-2727 不動産に関する何でも 相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	30 26日 仏滅 無料法律相談 13:30~・要予約 (八女民主商工会) ☎24-2727 不動産に関する何でも 相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	31 27日 大安 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	司法書士相談 黒木町ふじの里 10月11日 八女市社会福祉会館 10月18日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院	

ら 獺 詩 人 の 笑 顔 。
 獺 さん の 詩 を 歌 い 奏 で る ギ タ
 ー に、馬 頭 琴 も……。あ の 世 か
 ら 獺 詩 人 の 笑 顔 。
 この あ と 琉 球 独 特 の 三 線 メ ロ
 デ ィ に 始 ま る コ ン サ ー ト 。
 獺 さん の 詩 から 多 彩 な 発 言 。
 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 大人 ま で そ れ ぞ れ の 作 品 か ら
 基 地 沖 縄 の 課 題、偏 見、い じ
 め、基 本 的 な 人 権、ど う 郷 土
 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。
 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 大人 ま で そ れ ぞ れ の 作 品 か ら
 基 地 沖 縄 の 課 題、偏 見、い じ
 め、基 本 的 な 人 権、ど う 郷 土
 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。
 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。

ト。まず 獺 詩 人 を 語 る 座 談 会
 長 女 泉 さ ん が 語 る パ パ の 思 い
 出。"と うち ゃ ん の 下 駄 な ん
 か、は く じ ゃ ん の 下 駄 な ん
 場 を 見 て 言 っ た が、ま な 板 み
 た い な 下 駄 を 引 き ず っ て……"
 と、詩 に も 描 か れ て い る 泉 さ
 ん も 立 派 な お ば あ ち ゃ ま。
 ▼朗 読 は、小、中、高 校 生 か ら
 大 人 ま で そ れ ぞ れ の 作 品 か ら
 基 地 沖 縄 の 課 題、偏 見、い じ
 め、基 本 的 な 人 権、ど う 郷 土
 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。
 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 大人 ま で そ れ ぞ れ の 作 品 か ら
 基 地 沖 縄 の 課 題、偏 見、い じ
 め、基 本 的 な 人 権、ど う 郷 土
 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。
 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。
 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く
 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。

”土の上には床がある。床の上には畳がある。畳の上にあるのが座蒲団で、その上にあるのが楽といふ……貧苦の生活詩一筋に生きた沖縄出身の詩人山之口獺、この秋は没後50年、生誕一〇〇年祭。▼文学青年、都落ちの際、お別れの記念にと書いて貰った。座蒲団の詩、色紙一枚。色は褪せたが大切に保存、五十余年。獺 詩 人 研 究 第 一 人 者 筑 紫 女 学 園 松 下 教 授 の ご 高 配 で、記 念 祭 に あ わ せ て、沖 縄 県 立 図 書 館 へ 寄 贈。▼そ こ で、9 / 7 二 泊 三 日 間 の 沖 縄 渡 行。松 下 教 授 の 懇 切 な ご 案 内。七 日 は、琉 球 新 報 ホ ー ル に 於 て ” 獺 さ ん、あ り が と う の イ ベ ン ト。ま ず 獺 詩 人 を 語 る 座 談 会 長 女 泉 さ ん が 語 る パ パ の 思 い 出。 ” と うち ゃ ん の 下 駄 な ん か、は く じ ゃ ん の 下 駄 な ん 場 を 見 て 言 っ た が、ま な 板 み た い な 下 駄 を 引 き ず っ て…… ” と、詩 に も 描 か れ て い る 泉 さ ん も 立 派 な お ば あ ち ゃ ま。 ▼朗 読 は、小、中、高 校 生 か ら 大 人 ま で そ れ ぞ れ の 作 品 か ら 基 地 沖 縄 の 課 題、偏 見、い じ め、基 本 的 な 人 権、ど う 郷 土 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。 大 人 ま で そ れ ぞ れ の 作 品 か ら 基 地 沖 縄 の 課 題、偏 見、い じ め、基 本 的 な 人 権、ど う 郷 土 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。 獺 さん の 詩 が 多 彩 な 発 言 。 こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。 に 生 き る か。言 葉 の 力、書 く こと の 意 味、戦 争 と 平 和 。

獺さん、
 ありがとうの秋
 詩人推窓 猛



楽しい絵手紙



八女市吉田
長内 和子
(彩和の会)

「公民館の絵手紙講座に参加しませんか」と知人から誘われ、中学校以来筆など持ったこともなく迷いましたが、「絵手紙は下手でもいい、下手がいい」と言葉に、それなら私も出来るかなと入会しました。下手な絵でも大坪先生の『うん：：よ

かバイ：：』の一言に勇気をいただきました、今も続けています。ハガキに、同じ画材を描いても、皆さんそれぞれに個性的な絵が出来上がります。これが面白いところです。今は花などを見る目も変わり、自然の不思議さを感じています。皆様も始めてみませんか。



活力朝礼

分野への製品開発にも力を注いでおります。

少子高齢化・生活習慣の変化による市場変化や海外からの安価な輸入品・情報化社会での価格競争の激化等により、中小企業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。この難局を乗り越えるために社員一人一人のモチベーションを高めていきたいとの思いから、江口製菓様や株式会社久保で取入れられている活力朝礼の話聞き、今年7月より筑後倫理法人会様の協力を得て活力朝礼を実施しております。

適度な緊張感の中、社長のあいさつから朝礼が始まり、全員一丸となり大きな声で『おはようございます』『いらっしゃいませ』『ありがとうございました』と挨拶の実習を行います。この挨拶により一日の良いスタートが切れ職場に活気が出てきたような気がします。

また、「職場の教養」輪読では社員全員が一つのテーマについて考えを共有し、今日の心がけを意識することでミスも減り職場の雰囲気も改善されてきています。

職場の教養の表紙に書かれている「朝を活かす企業が勝つ!」という言葉通り今後も活力朝礼を続け、会社の飛躍に繋げていきたいと考えております。 高山 泰輔

ダイアックス株式会社 八女市立花町谷川71-1 TEL0943-37-1100

活力朝礼を取り入れたい方は、筑後倫理法人会 事務局0942-42-2815迄

眩き 黒まなこ

この秋、長男に先駆けてわが家の二男が結婚する。披露宴で流すプロフィール映像に使う写真を選ぶことになり、久しぶりに息子のアルバムを開いた。純真無垢の黒まなこ、白眼の部分が青みがかって美しい赤ちゃん時代。アンパンマンそっくりの顔でいたずらばかりしていた幼児期。剣道を始めた小学一年生の勝気な目元、星祭りに運動会、夢中になった乗馬。中学、高校、大学と剣道一筋の青春時代。あの丸かった顔は随分と面長に変わり、円らな瞳はいつの間にか切れ長になった。

二十六歳の現在までの息子の写真を見つめることは、私達家族の歴史を見つめ直すことだった。ある時は隣に、またある時は背景に写り込んでいる兄弟と夫と私の姿。当然未だ充分に若かった私達家族。何の衒いも屈託もなく、大口を開けて笑ってばかりの写真達。幸せな家族だった。写真は嘘をつかない。

地味で目立たなかった少女時代の私にも、唯一誇れるものがあった。「黒まなこが大きくてきれいだなあ」「黒目の比率が多いよ」と褒められた。今の私は、近眼のコンタクトと老眼用の眼鏡、目薬が手放せない。目は口ほどに物を言い、目が生きている人の表情は豊かだ。さて、私の黒まなこは曇ってはいないだろうか。心眼は健在か。十月には、澄んだ両眼で息子の門出を見送ろうと思う。 蓉子

岡山少年サッカークラブ

楽しい仲間たち

当クラブは、創部21年になります。

創部10周年記念大会を期に、クラブ主催の記念大会を毎年12月に開催しています。その甲斐あってか、数年前鹿児島で開催された九州大会に福岡県代表として出場、ベスト16という成績を収めることが出来ました。現在は6年生～2年生まで32名の部員と、1年生・年長さんの体験入部中のちびっ子が5名と、とっても活気に溢れています。

練習にはOBの中学生や、高校生などが来てくれて、希薄になりつつある、縦の繋がりができ、子供たちもお兄ちゃんたちのプレーに目を輝かせて、刺激を受けながら、一緒に楽しく熱の入った練習をしています。

昨年10月、公式戦の新人戦では筑後地区68チームのチャンピオンとなりました。練習の成果が結果として結実し、また4年生大会でも『優勝』、3年生大会も『準優勝』と、他の学年に負けたくないという、競争意識も芽生え、子供たちは、日々心身ともにたくましく成長しています。

みんなでつないだボールが、相手ゴールのネットを揺らした時の子供たちの笑顔、勝ったときの感動、観戦している者も感激と感動をもらいます。

何事も一生懸命やれば、きっと出来る、あきらめない心と、チームワークの大切さ、そしてなにより、『練習は裏切らない!』を身をもって体験できます。サッカーが好きな子、興味がある子は一緒に楽しくサッカーやろうよ。毎週、火・木・土曜日の午後5時から7時まで、室岡グラウンドで練習しています。是非一度グラウンドに遊びに来て下さい。

監督 大石 秀夫



ひがんな咲いた…童謡風に… 深町準之助

頭のとっぺん 持ち上げて
もういちど もういちど
持ち上げて
ひがんな咲いた
秋の日咲いた
後はぐるりと 後はぐるりと
日が廻るだけ
ゴットン 水車も
廻るだけ
あの道この道 川づたい
真つ赤に 真つ赤に
染め上げて
ひがんな咲いた
並んで咲いた
空は夕焼け 空は夕焼け
もう日が暮れる 空は夕焼け
カアカア カラスの
背も暮れる



街かど gallery



友達の所へ遊びに行った時、おけいこされていた。自分も墨絵が好きで良いなと思っていました。丁度その頃、立花町近所の友達と申し込みました。それが今の中島先生です。すばらしい先生に恵まれお手本を載せていますが、まだまだ分らず自分なりに描いています。「あなた達の為に先生は居るのよ」と言ってやさしく教えて戴きます。先生の手助けで自分なりの作品が幾つも出来ました。本当に嬉しく感謝しています。今まで続けてこられたのも、教室の仲間の皆さんに優しく応援してもらえるところからといつもありがたく思っています。



立花町白木 久富 カツキ

友達の所へ遊びに行った時、おけいこされていた。自分も墨絵が好きで良いなと思っていました。丁度その頃、立花町近所の友達と申し込みました。それが今の中島先生です。すばらしい先生に恵まれお手本を載せていますが、まだまだ分らず自分なりに描いています。「あなた達の為に先生は居るのよ」と言ってやさしく教えて戴きます。先生の手助けで自分なりの作品が幾つも出来ました。本当に嬉しく感謝しています。今まで続けてこられたのも、教室の仲間の皆さんに優しく応援してもらえるところからといつもありがたく思っています。

クラッシー文芸
 ■立花短歌会
 海軍に進んで志願若者の逝きて六十八年忘れることなし 中村サチ子
 朝もやの出雲大社の本殿に 一步進んで拍手を打つ 田中たつじ
 誕生日の孫に進めとはやし 鶴 隆治郎
 たて歩く姿に一喜一憂 鶴 隆治郎
 護衛艦「いずも」の進水に 流れくる軍艦マーチ耳を疑う 中島 睦美
 雨の夜は見果てぬ夢の一里塚空蟬の声聞くと進めず 松尾ミサキ
 ■立花町俳句会
 南北の戸を開け放つ夏座敷 中村テルヨ
 炎暑にも田の草取りし若き

日々 中尾カヲル
 夏萩のこぼれて赤く光りを 華やかや七夕飾る 道の駅 原 宣子
 まほろばと言はれし八女に 梅雨禍の忌 吉泉 守峰
 遠き日やおむつ作りし古浴衣 西島志乃芙
 ■八女睦句会
 西瓜割り力んで的をはずし けり 堤 呼秋
 内股に楚々と町行く白日傘 短パンで猛暑乗り切る八十路かな 大坪 栄子
 蘇る数多の想ひ終戦日 城戸 和子
 本物か我が耳鳴りか蝉しぐれ 正体のわからぬ虫に刺され

たり 穴見ミキエ
 靖国の兄を偲びし終戦日 山口 弘子
 ■黒木町くすの実句会
 娘の名忘れゆく母蟬時雨 風の筋ありて夏草揺れにけり 寺田 睦子
 寝苦しや猛暑豪雨と便り書 青木 早弓
 夏草や水渦の跡を証したる 東野 蓉子
 天変地異なき世のごとく天の川 吉泉 守峰
 身じろがずじつと咲くまで 蓮の花 松尾アサ子
 ■上陽町陽泉俳句会
 花火の音 八行五段に活用す 吉泉 守峰
 刀豆の花の涼しき色となる 大坪 延子

鈴虫の幽かな風を連れて来し 大坪 清香
 ポップコーンは白くして白し 天の川 梅野トラノ
 送り火にまたの逢瀬を願ひつつ 城後 正子
 この極暑野菜の悲鳴きこえ来る 倉ノ下和代
 ■ひろかわ俳句会
 手花火の闇から笑顔こぼれけり 原口あつ美
 連れだちて徐々にかまびす蝉の声 御厨とみ子
 酷暑日の一点を追ふ球児達 酷暑日の一点を追ふ球児達 一瀬砂智子
 戦争の話止まらぬ生御霊 水本 辰次
 黙禱に偲ぶ戦史の残暑かな 山下 次男
 猛暑にもめげず球児のホー ムラン 田川 義己



今月の山柳

人を恋う 姿に揺れる 秋桜

人待ち顔に、寄り添いながらコスモス揺れて、すっかり秋の風となった。乙女の純情の花ことばのコスモスのパステルカラーの優しさに癒され、郷愁にかられる。コスモスも揺れて 心も秋の色 八女川柳会 安達 昇



本分保育園 さくら組 うめのとくしん

たのしいことがいっぱい

おとうさんとやきゅうをするのがたのしいよ。 おかあさんとかいものをするのがたのしいよ。 えいりちゃんとしてんしゃにのることがたのしいよ。 おじいちゃんときかたのしさをすることがたのしいよ。 おばあちゃんといそいそをよむことがたのしいよ。 ほいくえんであそぶこともたのしいよ。 たのしいことをいっぱいみつけるよ!

松田久彦さんの卒寿を祝う会



松田久彦さんをご存知でしょうか。八女の職人に惚れ、八女の工芸・民芸を日本中に紹介したあの松田さんです。松田さんが八女に来て52年になります。今年11月3日が90歳の誕生日です。松田さんを敬愛する私たちは、誕生日に「松田久彦さんの卒寿を祝う会」を計画しました。趣旨に賛同して、出席して下さる方を募っています。私たちは壇上に立った松田さんがまだ話を始めないうちから、なぜか嬉しくなってしまう。あのぎよろりとした目玉にひきつけられ、魔術にかかるといっていい。松田さんは90歳を前にした今も、元気です。久しぶりに松田節を聞きませんか。当日は松田さんに「八女に来て52年(仮題)」の題で話をしてもらおう予定です。松田さんは大正12年、久留米市東町の生まれ。召集され、福岡市で終戦を迎えています。毛布1枚を持って、久留米に帰ったそうです。昭和23年、夕刊フクニチ新聞社の記者になり、サツ回りからスタート。11年間の記者生活のあと、東京温泉の宣伝部長、伊豆修善寺の温泉旅館の番頭も経験。昭和36年、堀川バスに迎えられます。

八女に来た時38歳でした。文化勲章受章の画家、坂本繁二郎さんを訪ね、堀川バスの車体の色について問答し、やりとりを社内報に紹介しています。松田さんは、仏壇や提灯、手漉き和紙、久留米餅、石灯籠などの工房を訪ね、多くの職人と会話しています。家人と仲買人くらいしか話す相手がいなかった多くの職人は、ずけずけとモノを言う松田さんに最初は戸惑い、後には、嘘のない松田さんの来訪を心待ちにしていたようです。

松田さんは職人との出会いを楽しむ一方で、八女の自然を愛し、街並みを愛し、消えゆく伝統の味を惜しみ、私たちに「生きる」意味を考えさせてくれました。職人との交流の模様や、八女の自然・伝統を見直す視点は、松田さんの著書(「物々好感」「きもんぬすど」「八女、仕事着の道」「八女を歩く1~3集」など)に詳しく書かれています。

私たちは今改めて、「松田さん、よくぞ八女に来てくれました」という思いでいます。

伝統的工芸の各組合の理事長、八女伝統工芸館や八女ふるさと塾の関係の皆さん、産業界の皆さんらに賛同していただきました。多くの皆さんが、「松田さんと久しぶりにしゃべろう」と集まってくださることを願っています。

「祝う会」は11月3日午後4時から、「いわ井」(八女市津ノ江)で行います。会費5,000円。卒寿を期してまとめた「松田さん・八女を歩く」(福原信彬著)をお配りします。

松田久彦さんの卒寿を祝う会代表 山口 昇(八女伝統工芸館理事長) お問い合わせ・申し込みは 松尾和紙工房(☎24-3876) 株東兄弟(☎24-2111)

矢部川源流・杉の里の四季 ②

ヤクシソウ(薬師草)[キク科]

ヤクシソウは、秋(10~11月)日当たりの良い山野で良く分枝した花茎に黄色い小花を集合して咲かせるキク科の野草(二年草)である。

矢部村では釈迦岳登山道(車道)のよく陽が当たる南に面した道端に、上を向いてこぼれるように咲いた黄色の花を観察することが出来る。葉は互生してつき、基部が茎を抱いてついている。この葉の付き方が薬師如来の光背に似ていることから薬師草と名がついたといわれている。

松尾 重根(黒木町)



フォトエッセイ

こっぱげ祭



八女市星野村十箇にて、青年が各家庭を回り、住民に獅子の面で頭を嘯ませたり、先を割った竹でお尻を叩いて、住民の無病息災を祈願します。少女は恥ずかしさ半分、無病息災の思い半分で叩いて貰います。
ちくご 北島 東司郎

「約束事」を脱ぎましょう

記録的な猛暑の夏も去り、爽やかな秋の到来です。秋袷を着て出掛ける日に気温が三十度になることもあり、そんな日は下着を夏物にし、半衿は豎しぼや縷子、着物は薄地の単衣を着て出掛けます。昔から、十月より袷の着物を着ましようという約束事がありますが、大勢の人が公式の席に会する際、単衣や袷の着物では不揃いで、統一美や格式に欠けるといふ理由からです。

冠婚葬祭やお茶会以外ではTPOに合わせ、「暑いけど約束事を守りましょう」的な装いは避けて、基本をわきまえた上でのご自分の感性を大切にしたい装いを愉しまししょう。

装いとは相手方に不快感を与えないためのマナーでもありますから、着心地優先で装えば、その爽やかな雰囲気はまわりの方に素敵に伝わることでしょう。伝統とは守るものではなく新しいことを加味しながら創造していくことではないでしょうか。

『ごだまする着物』伊賀律子著より

ベターホームの楽しいcooking

かぼちゃのいとこ煮



【料理本】お弁当がすぐできる便利なおかずより ¥1260(税込)



こちら大好評発売中

男の昼ごはん読本 ¥300(税込)

「男の昼ごはん読本」の申込は300円分の切手を下記までお送り下さい。〒810-0001中央区天神2-13-17 ベターホーム宛

Table with 2 columns: 材料 (2人分) and 作り方. Lists ingredients like pumpkin, sweet potatoes, and cooking instructions.

ゆであずきの甘みだけでおいしく煮えます！

ベターホームの本のお申込みは、電話、FAX、インターネットで受付。092-714-2411 FAX092-711-7830 URL http://www.betterhome.jp

木村屋コラボパン販売実習

八女農業高等学校

生産技術科2年の松延真澄さん、池田夏奈さん、築地原香奈さん、角田優作君、住吉健太君の5名は、本校と木村屋が産学連携により開発したパンの販売実習を、久留米市の木村屋本社で行いました。

当日は、お客様の多さにとまどいながらも、パンの試食を勧めたり、商品説明を一生懸命行い、とても好評でした。お客様からは「とてもおいしいわ」「暑い中、たいへんだけど頑張ってるね。応援しているからね」と嬉しい励ましの言葉をいただきました。

これまでの学習の成果を十分に発揮するとともに、地域の企業やお客様と密接に繋がることができました。

八女農みらい館10月販売日

1日(火)、4日(金)、8日(火)、11日(金)、18日(金)、22日(火)、29日(火) 毎週火曜日と金曜日の2回定期的に販売しており、販売時間は、10時30分～15時30分です。多くの皆様のお越しを心からお待ちしています。



販売の様子

Happyワンポイント英会話 八女でホームステイ受け入れ家庭になる編

その15 "Please call me ~." 「私を~と呼んでください」

前回は、(おそらく)そうはならないだろう...という否定的な気持ちを "I doubt it."と表現しました。

Emi: Hey Kristen, this is my friend, Yoshiharu. He teaches math at a junior high school in Yame. (ねえ、クリスティン、こちらは私の友達のヨシハルさんよ。八女の中学校で数学を教えているのよ)

Kristen: Hi, Yoshi... (こんにちは、ヨシ...)

Yoshiharu: Yoshiharu. Call me Haru. (ヨシハルです。ハルと呼んでください)

Kristen: Yeah, nice to meet you Haru. I'm Kristen. I'm from America and staying with Emi's family. (はい、初めましてハル。私はクリスティンです。アメリカから来て、エミの家にホームステイしています)

Yoshiharu: Nice to meet you too, Kristen. (初めまして、クリスティン)

Kristen: You're a math teacher, aren't you? I'm not good at math at all. How can I improve myself? (数学の先生だったんですね？ 私は数学が全然得意じゃないです。一体どうやったら、よくなりますかね？)

Yoshiharu: I don't know but I've been interested in numbers since I was a child. (わからないけど、私は子供の頃から数字に興味がありました)

Kristen: I see, Yoshi... (そうなのね、ヨシ...)

Yoshiharu: Call me Haru! (ハルって呼んで！)

Happyワンポイント英会話前回(その14)の復習 I doubt it. 「そうはならないと思う」

Happyデザイングリッシュハウス 大坪エミ

八女ライオンズクラブ 障がい者支援講演会. Includes date (Oct 6), time (9:30-11:30), and speaker (鈴木ひとみ).

第30回 市民コンサート. Date: 10月27日(日) 13時30分開演. Venue: おりなす八女ハーモニーホール. Entry fee: 300円.

豪雨災害復興支援 八女市福島地区 防火・防犯秋の大祭. Date: 10月19日(土) 13:00~20:00. Venue: 八女市土橋八幡宮周辺.

10月の道の駅たちばな 道の駅たちばな こんにやく作り教室. Date: 10月26日(土) 午前10時~午後1時. Fee: 500円 (材料代込み).

八女商工会議所青年部創立30周年記念講演. Date: 10月12日(土) 午後3時. Venue: おりなす八女. Speaker: 橋本久義先生.